

## シュローダー・スナップショット

# マルチアセット・ビュー グローバル市場見通し

2024年7月

見通しの表示： ● 強気 ● 中立 ● 弱気 矢印：対前月での見通しの引き上げ/引き下げ

株式	国債	社債	コモディティ（商品先物）

強気の見通しを維持しています。米国経済が堅調であることに加え、米連邦準備制度理事会（FRB）は秋頃に利下げを開始するとみています。

中立の見通しを維持しています。米国債は妥当な価格水準にあり、強気に転じるためには経済指標の軟化が必要と考えます。財政悪化懸念に対するヘッジとしては、スティーブナーを選好しています。

中立の見通しを維持しています。流動性やキャリアを好感する一方、政治的不確実性から債券市場のボラティリティが高まる可能性を懸念しています。また、バリュエーションも割高な水準にあります。

全体として中立の見通しを維持しています。エネルギーは方向性に欠ける展開が続いているほか、産業用金属については製造業の景気サイクル好転を好感するものの中国需要の減退を懸念しています。

資産クラス	分類	見通し
株式	米国	流動性や利益成長に対する期待感が引き続き支援材料になると考え、強気の見通しを維持しています。
	欧州	欧州株式市場では一部の大型銘柄を除いて業績期待が後退しており、限られた銘柄が市場を牽引しています。そのほか、欧州における政治的不確実性の高まりを嫌気して、見通しを弱気に引き下げました。
	日本	業績の上方修正がみられることを好感している一方、円安による輸入価格の上昇が消費者信頼感の悪化や中小企業の利益圧迫につながるとみて、中立の見通しを維持しています。
	アジア（除く日本）	製造業関連指標は回復傾向にある中、台湾や韓国などの輸出が改善されることを期待し、強気の見通しを維持しています。ただし、中国については、中国経済の軟化から中立の見通しを維持しています。
	新興国	多くの新興国はインフレ抑制を実現しており、より信頼性のある財政政策が行われています。製造業の景気サイクルからも恩恵を受けるとみて、強気の見通しを維持しています。










最終ページの「本資料に関するご留意事項」を必ずご覧ください。本資料に記載された見解はシュローダーのエコノミクス・チームによるものであり、必ずしも他のシュローダーの見解と同一であるとは限らず、シュローダーが提供する運用戦略やポートフォリオに反映しているものでもありません。将来の動向や予測の実現を保証するものではなく、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。予測値は将来の傾向を例示することを目的とするものであり、その実現を示唆あるいは保証するものではありません。実際には予測値と異なる結果になる場合があります。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社




金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第90号




加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

Schroders

資産クラス	分類	見通し
国債	米国	 米国債は妥当な価格水準にあると考えるほか、金融市場はFRBの年内2回利下げをほぼ織り込んでいます。インフレ圧力は減退しているものの、消費者信頼感指数や雇用指標は依然として米国経済の底堅さを示しているため、弱気の見通しを維持しています。
	欧州 (ドイツ国債)	 ユーロ圏インフレ率が依然としてインフレ目標より高いことを受けて、欧州中央銀行（ECB）は7月の理事会で政策金利を据え置きました。政治的不確実性も考慮し、中立の見通しを維持しています。
	新興国 (現地通貨建て)	 魅力的なバリュエーションとキャリー水準を提供していると考えますが、新興国債券の代替ポジションとして新興国通貨を保有することを選好しており、中立の見通しを維持しています。
	インフレ連動債	 インフレ圧力は低下基調を維持しています。ただし、インフレ指標の予想外の上振れに対するヘッジになることから、強気の見通しを維持しています。
投資適格社債	米国	 経済成長や流動性などが支援材料となっています。一方、財政悪化懸念などから、債券市場のボラティリティが高まる局面があるとみています。スプレッドは縮小しており、リスク・リターン特性は魅力的でないと判断し、中立の見通しを維持しています。
	欧州	 米国投資適格社債と比べてバリュエーションは相対的に安い水準にありますが、欧州における政治的不確実性を考慮し、中立の見通しを維持しています。
	新興国 (米ドル建て)	 良好な企業ファンダメンタルズ、魅力的なキャリーを評価しているものの、バリュエーションは割高な水準にあると判断し、中立の見通しを維持しています。
ハイイールド社債	米国	 デフォルト率はピークアウトしたほか、流動性や利回り水準を好感しています。しかし、バリュエーションは割高な水準にあるため、中立の見通しを維持しています。
	欧州	 バリュエーションは米国ハイイールド社債と比べて安い水準にありますが、欧州における政治的不確実性を懸念し、中立の見通しを維持しています。

最終ページの「本資料に関するご留意事項」を必ずご覧ください。本資料に記載された見解はシュローダーのエコノミクス・チームによるものであり、必ずしも他のシュローダーの見解と同一であるとは限らず、シュローダーが提供する運用戦略やポートフォリオに反映しているものでもありません。将来の動向や予測の実現を保証するものではなく、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。予測値は将来の傾向を例示することを目的とするものであり、その実現を示唆あるいは保証するものではありません。実際には予測値と異なる結果になる場合があります。

資産クラス	分類	見通し
コモディティ (商品先物)	エネルギー	 原油相場はレンジ内での取引が続いています。OPECによる減産が米国からの供給によって相殺される中、需要減速の兆候も見られているため、中立の見通しを維持しています。
	金	 利下げサイクルが始まる中、金利低下により金の投資魅力は相対的に高まるとみています。そのほか、テクニカル要因が下落余地を限定するとみて、強気の見通しを維持しています。
	産業用金属	 製造業の景気サイクルは好転しているものの、グリーン・エネルギーに関連する中国からの需要が減退していることを受けて、中立の見通しを維持しています。

資産クラス	分類	見通し
通貨	米ドル	 FRBは秋頃に利下げに踏み切るとみているほか、最新の経済指標の内容から米国経済がノーランディングに向かうリスクは低下したと判断し、見通しを中立に引き下げました。
	ユーロ	 弱気の見通しを維持しています。ユーロは6月のフランス国民議会解散発表後に付けた安値から反発しましたが、9月に予定されているドイツ州議会選挙がさらなる不確実性をもたらす可能性を懸念しています。
	日本円	 日本銀行の金融政策正常化に対する期待が高まっているものの、円安基調が続いていることから、中立の見通しを維持しています。

本資料に記載された見解はシュローダーのエコノミクス・チームによるものであり、必ずしも他のシュローダーの見解と同一であるとは限らず、シュローダーが提供する運用戦略やポートフォリオに反映しているものでもありません。将来の動向や予測の実現を保証するものではなく、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。予測値は将来の傾向を例示することを目的とするものであり、その実現を示唆あるいは保証するものではありません。実際には予測値と異なる結果になる場合があります。

出所：シュローダー。社債に関する見通しは信用スプレッド(デレージョン・ヘッジを前提)の動きに基づくものです。ユーロと日本円は対米ドルの見通しとなります。

**【本資料に関するご留意事項】** 本資料は、情報提供を目的としてシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が作成した資料であり、いかなる有価証券の売買の申込み、その他勧誘を意図するものではありません。本資料に示されている運用実績、データ等は過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。投資資産および投資によりもたらされる収益の価値は上方にも下方にも変動し、投資元本を毀損する場合があります。また外貨建て資産の場合は、為替レートの変動により投資価値が変動します。本資料中に記載されたシュローダーの見解は、策定時点で知りうる範囲内の妥当な前提に基づく所見や展望を示すものであり、将来の動向や予測の実現を保証するものではありません。市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。本資料は、作成時点において弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されておりますが、内容の正確性あるいは完全性については、これを保証するものではありません。本資料を弊社の許諾なく複製、転用、配布することを禁じます。シュローダー/Schrodersとは、シュローダー-plcおよびシュローダー・グループに属する同社の子会社および関連会社等を意味します。



創業から200年超、日本に根ざして50年。  
 卓越した資産運用サービスをお届けするため、  
 私たちの視線が向かうのは、いつもひとつ先の未来。  
 今また新たな投資機会の発掘に向け、  
 シュローダーは動き出しています。

